

事業実施と生活交通確保維持改善計画(又は地域公共交通計画)との関連について

協議会名:	四万十町地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域フィーダー系統確保維持国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>本町は、高知県の西南部に位置し、町の東南部は土佐湾に面し、北部は愛媛県との県境に接しており、総面積は642.28km²で、総面積のうち林野面積が87.1%を占めている。人口推移は、昭和35年に38,584人であった本町の総人口は、現在に至るまで減少を続け、平成22年には18,733人となっており、この50年間で51.4%の減少となっている。</p> <p>高齢化率は昭和35年の8.4%に対し、平成22年には38.5%に増加し、若年者人口比率は、昭和35年の20.1%に対し、平成22年には8.6%と減少している。</p> <p>高齢化の進行等により、高齢者等の移動が困難な状況になっており、広域的な対応を含め、公共交通網の再編に取り組む必要に迫られているのが本町の現況である。</p> <p>このような状況において、住民の生活および移動の実態を踏まえた公共交通網の再構築を目指し、高齢化が進む中山間地域等の移動手段を確保し住み慣れた地区での生活を守ることを目的として、既存のバス路線を改善する作業(利用の少ない路線はコミュニティバスに置き換えることも視野に入れている)と並行し、地域間交通ネットワークに接続する公共交通の確保に取り組むことが重要となっている。</p>